

2023年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

- A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名【 南千住駅前保育所 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	B
評価の根拠 子どもの個性の尊重を念頭に置きながら保育をしている。また、地域子育て支援なども行っている。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	B	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	B
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	B	B
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 情報共有、保育士同士の報告、伝達が出来ている。なお、一部改善が必要としていることとしては、人員不足、連絡体制の不備、情報共有不足があげられる。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	B	B
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	B	B
評価の根拠 看護師を中心に衛生管理に努めおり、マニュアルの作成、会議による伝達ができている。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	B	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	B
評価の根拠 今年度より新たな行事を行っており、日々の保育の延長線上の行事として、何かをするのではなく子どもたちの主体性を尊重し、ねらいや計画はクラスごとに考え話し合いをし行われている。とする一方、目的やねらいがすべての保育士に落とし込めているのか疑問もある。また保護者の声を聞いてほしいといった意見もある。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	B
評価の根拠 モリモリさんがクラスに来てくれている。また、給食室と担任間での話し合いや調理担当者と子ども達のコミュニケーションが密にとられている。一方、改善というよりは、食育の行事を増やしたい、コロナ過で控えていた食育を進めたい、食文化を伝えるなど望ましい要素の意見がある。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 保護者対応などはリーダーや園長に相談しやすく、迅速に対応できている。一方で改善が必要と思っている部分は、会議のあり方や時間、方法や効率性、情報伝達について改善を求めている意見が多い。		

自己評価の観点	前年度の の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	B	B
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	B	B
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	B	B
評価の根拠	看護師と一緒に手洗い指導をするなど、子どもたちも楽しみながら参加できる、園内の衛生面や美化は意識しておこなえているとのこと。一方、避難訓練については、事前での準備をしてしまう、想定は別でも避難行動が同じになってしまうといった意見もある。なお、マニュアルの保管場所、周知などの徹底動める必要がある。	
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	B	B
② 研修報告を園内で実施している	B	B
評価の根拠	研修報告により共有でき、会議に出ていなくてもコドモンでの配信で知ることができる。また、研修内容が子どもたちの姿に合わせたものが多いと研修内容についても満足している部分もある。	
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	B	B
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	B	B
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B	B
評価の根拠	個人情報の漏洩や守秘義務を意識し、十分に注意を払い管理している。一部に表簿の書き方が定まっていないなどの理由もある。	
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	B
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	B	B
評価の根拠	掲示板の活用、安全確認などが出来ていると集約することが出来る。一部掲示板について情報の整理及び地域への発信を求める意見がある。	
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	B	B
評価の根拠	保護者に子ども達の様子を丁寧に伝え、保育参観やほかほか日記配信などをおこない、日頃の保育への理解が得られるように保護者支援をおこなっている。また、クラス懇談会や個別面談をおこなったり、保育参加の期間を設けるとともに、送迎時に保護者と子どもの様子で心配な事があれば話を聞き、保育士と共有、1日様子をみて保護者に伝えている。	
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	B
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	B	B
評価の根拠	一時保育、病後児保育、特に子育てサロンを行い地域とのコミュニケーションがとれている部分で開かれた保育所と捉えている。	
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	B	B
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	B	B
評価の根拠	ブログ更新及びコドモンで子どもの様子などを配信し情報提供が行えている。とする一方、更新がうまくいっていない、あまり力を入れていないなどといった意見もある。	

14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	B	B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	B	B
評価の根拠	日々の保育の中で 園児達の人格を尊重し常に同じ目線で 関わる事ができる様努力し、特に国籍や文化での大きな違いがある家庭にも寄り添い、笑顔でのやりとりが増えることを目指し、職員間で声を掛け合っている。	
15. 総括		
年間とおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えらる点 前年度よりも自分の立場や仕事内容が明確になったので、求められている事が分かりやすく、子ども達への保育に対して一人ひとりに合わせた保育を意識できるようになってきた。保護者や子ども達との信頼関係がより深まってきた。また、昨年からリーダークラスが退職等により、若手職員やアルバイトの意識や責任感が芽生え始めた。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 		
年齢別の発達段階の確認や目標をクラス職員全体で周知して日々の保育にあたる様にするとともに、今年度は行事の大幅変更がされた年なので、その反省を生かし、次年度繋げることが課題となってくる。		